

令和8年

三郷七福神めぐり

七福神めぐりは室町時代に京都で始められました。

七難即滅七福即生の福德の守護神は、インドの三天、中国の三神、日本の恵比寿様で仏教がインド→中国→我国へと渡来した道を象徴しています。

三郷七福神めぐりは、町の繁栄と家運の隆盛、心身の健康、文化財との繋がりを願って三郷市内24ヶ寺参加の3コース(早稲田めぐり・八束郷戸ヶ崎めぐり・彦成めぐり)で生まれました。

